

科目区分	専門分野	授業科目	生活援助技術Ⅲ (清潔)
講師名	尾川　ひとみ	開講年次	1 年次　第 1 学期
単位数（時間）	1 単位（30 時間）		
授業概要 * 講師からのメッセージ	看護師は、疾病・障害などなんらかの理由によって普段どおりの清潔行為や衣生活の維持が困難になった患者に、その人に適した方法を考え清潔の援助を行います。病態を考慮し、その人に即した方法を考えられるようになるために、援助の基本を学びましょう。		
目的：日常生活における身体の清潔、衣生活の意義について理解し、病気に罹患し療養している対象への清潔の援助方法についての知識・技術・態度を習得する			
目標：1．日常生活における身体の清潔、衣生活の意義について理解できる			
2．皮膚粘膜に関する解剖生理学的知識を活用しながら、対象の身体を清潔にする方法の原理原則に関する知識を習得することができる			
3．病気で療養している対象の身体の清潔並びに衣服の着脱の援助方法の技術と態度を習得できる			
回	授　業　内　容		
1【講義】	1．清潔・衣生活の意義 皮膚の構造と機能		
2【講義】	2．清潔援助の方法と選択 1）身体への影響 2）手浴・足浴・入浴介助・シャワー浴介助		
3・4 【演習】	手浴・足浴（学生同士での演習）　＜演習＞ ・ベッド上仰臥位の患者への手浴・足浴 ・端坐位保持が可能な患者への手浴・足浴		
5【講義】	3）身体各部分の清潔 整容(洗面、目・耳・鼻の清潔、爪切り、髭剃り) 口腔ケア(歯磨き・義歯のケア) 洗髪（ドライシャンプー・ベッド上・洗髪車・洗髪台）		
6・7 【演習】	身体各部分の清潔(学生同士での演習)　＜演習＞ ・口腔ケア、整容・髭剃り・爪切り ・洗髪(ベッド上、洗髪台もしくは洗髪車を使用) ・入浴介助、シャワー浴介助（モデル人形を用いた演習）		
8【講義】	4）全身の保清 寝衣交換(点滴ドレーン等留置のある患者の寝衣交換方法含む) 全身清拭・陰部の保清(陰部洗浄)・おむつ交換		
9・10・11 【演習】	点滴・ドレーン等の留置の無い患者の寝衣交換・全身清拭（学生同士での演習）		
12・13 【演習】	陰部の保清・おむつ交換（陰部モデルを使用しての演習）　＜演習＞		

14【演習】	臥床姿勢の患者（点滴・ドレーン等の留置のない）を対象とした清潔援助 ・全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換、寝衣交換の一連の流れを通して実施
15 【技術試験】 (45 分)	臥床姿勢の患者（点滴・ドレーン等の留置のない）を対象とした清潔援助 ・全身清拭、陰部洗浄（排泄なし）、おむつ交換、寝衣交換
15 【筆記試験】 (45 分)	終了試験（45 分）
授業方法	講義・演習
評価方法	技術試験（50％）筆記試験（50％）
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ 参考図書 学研：看護技術プラクティス 医学書院：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術
備考	